

第7回大会

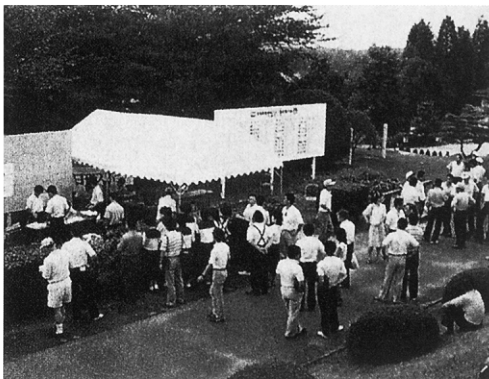
昭和61年8月19～20日／かずさカントリークラブ／男子32校出場／女子4校出場



前年の優勝メンバー4人を残す日体荏原（東京）が、前評判通りの力強さを見せ、2年連続優勝を決めた。特に、丸山茂樹（2年）は、大会史上初となる5連続バーディーを記録、2日目のスコア（27ホール）は、7アンダーの101と驚異的なスコアをマークし、2連覇に大きく貢献した。これに刺激された他のメンバーも好スコアを連発、昨年の最高スコアを3打更新する圧勝だった。また、本大会から女子の部がオープン競技としてスタート。木村敏美率いる堀越（東京）が、初代チャンピオンの座についた。

第8回大会

昭和62年8月19～20日／愛知・森林公園ゴルフ場／男子35校出場／女子4校出場



大会史上初の3連覇を目指す日体荏原（東京）を破り、平安（京都）が3年ぶり2度目の優勝を飾った。現在もトッププロとして活躍中の丸山茂樹（3年）を中心に快挙に挑んだ日体荏原だが、地味ながら総合力に上回る平安が、野村保文ら1年生の活躍もあり、逃げ切った。今大会から出場校の増加もあり1日18ホール、2日間合計36ホール競技に短縮された。また、女子は、昨年2位の津島女子（愛知）が、平松由香里（3年）の活躍で、昨年2位の雪辱を果たした。

◇男子成績

①日体荏原	894 (441、453)
丸山 茂樹②	209 (108、101=34、33、34)
立山 光広③	222 (111、111=37、35、39)
戸田 歩③	229 (114、115=36、38、41)
西川 哲③	- (108、棄権)
佐藤 英明③	- (119、-)
三代 健次③	交代(-、126=41、43、42)
②横 浜	913
③明大中野	922
④平 安	931
⑤日 大 高	934
⑥埼 玉 栄	936
⑦愛 知	950
⑧P L学園	958
⑨瀬 戸内	960
⑩東学館浦安	965

◇女子成績

①堀 越	505 (261、244)
木村 敏美③	150 (74、76=39、36)
泰道都也子③	160 (80、80=40、40)
北川 道子②	- (失格、88=45、43)
渋谷かおり①	206 (107、99=59、42)
②津島女子	519
③日体桜華女	544
④玉川学園	571

◇男子成績

①平 安(京都)	611 (299、312)
野村 保文①	150 (75、75)
箕浦 守一③	153 (75、78)
平塚 哲二①	156 (74、82)
小林 幸夫②	156 (75、81)
熊谷 則宏②	157 (79、78)
②日体荏原(東京)	614
③瀬 戸内(広島)	630
④水 城(茨城)	632
⑤埼 玉 栄(埼玉)	637
⑥目 黒(東京)	642
⑦P L学園(大阪)	643
⑧大産大高(大阪)	645
⑨日 大 高(神奈川)	646
⑩東学館浦安(千葉)	646
⑪愛 知(愛知)	648
⑫東海大四(北海道)	649
⑬東 北(宮城)	652
⑭向 上(神奈川)	661
⑮中部大春日丘(愛知)	662
⑯明大中野(東京)	663
⑰久 居(三重)	663
⑱日 大 一(東京)	664
⑲横 浜(神奈川)	667
⑳堀 越(東京)	669
㉑ 泉 (千葉)	669
㉒広 陵(広島)	671
㉓愛工大名電(愛知)	689
㉔千葉日大一(千葉)	695
㉕青山学院(東京)	696
㉖札幌商(北海道)	699
㉗鳩 山(埼玉)	701
㉘伊 東 商(静岡)	707
㉙関西学院(兵庫)	710
㉚沖 学 園(福岡)	714
㉛東 邦(愛知)	718
㉜玉川学園(東京)	721
㉝盈 進(広島)	727
㉞千歳北陽(北海道)	729
㉟拓大紅陵(千葉)	731

◇女子成績

①津島女子(愛知)	517 (261、256)
平松由香里③	167 (84、83)
井戸由葉子①	173 (89、84)
白川しおり①	177 (88、89)
宇佐美恭子③	183 (90、93)
②埼 玉 栄(埼玉)	529
③玉川学園(東京)	551
④日体桜華(東京)	577